

事業所名

YOSHIDA合同会社 児童デイえがお与野

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和

8

年

3

月

10

日

法人（事業所）理念		社会貢献を目的とし、地域とコミュニケーションを図りながら、ご利用者様一人ひとりの気持ちを大切に、地域で信頼と安心を得られる会社を目指していきます。		
支援方針		・子どもたちが「楽しく学べる」を第一に考えています。 ・子どもたちの将来の自立に向けた生活習慣習得をサポートします。 ・一人ひとりの「個性」を大切にします。 ・子どもたちの目標、課題をご家族と話し合い、支援していきます。		
サービス提供時間		児童発達支援 : 【平日】12:00～18:00 【休日】10:00～18:00	送迎実施の有無	有
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（毎回の体温測定・気分把握） ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所） ・構造化を意識した掲示、支援 ・食事、衣類の着脱、排泄、身なりを整える等の生活を営む上で必要となる基本的技能の習得		
	運動・感覚	・ラジオ体操等の軽い運動 ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 ・身体能力向上の為に体育館の活用 ・感覚を十分に活用できる遊び（砂遊び、粘土等）		
	認知・行動	・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成 ・1日の時間帯活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 ・粘土等による物質の変化と感覚の認知形成 ・ブロック遊びによる空間把握の認知形成 ・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング ・季節の変化への興味などの感性形成の為の外出・行動		
	言語 コミュニケーション	・はじまりの会で今日の気分気持ちをプレゼンテーションして言語の表出、受容 ・終わりの会で活動の振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出、受容 ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き ・ルールなどを絵などを使って視覚化 ・相手とのコミュニケーションづくり、身振り、手振り、言葉などで自分の思いを伝えられる環境作り		
	人間関係 社会性	・アタッチメント形成 ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ・役割分担のある遊びなどの協同遊び ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動 ・公園、児童館等やイベントなどを通じた地域との交流		
家族支援		・親子参加のイベントを開催 ・相談支援 ・送迎時など子どもに関する情報の提供	移行支援	・子どもの情報、保護者の意向等の意向先への伝達 ・併行利用の場合は利用日数や時間等の調整 ・家族への情報提供 ・移行先の受け入れ体制づくりへの協力 ・相談支援等による移行先への支援
地域支援・地域連携		・教育機関の関係者等との連携 ・個別のケース検討の為の会議への出席 ・公園、児童館等での地域住民との交流	職員の質の向上	・社内研修の実施 ・外部研修への参加 ・現場会議
主な行事等		・芋掘り ・お買い物に行こう ・駄菓子屋さんに行こう ・夏まつり ・水遊び ・公民館に行って遊ぼう ・運動会 ・クリスマス会 ・おやつ作り ・ハロウィンパーティー ・豆まきをしよう ・初詣 ・お花見 ・公園 ・遠足 ・学習センター等 ・避難訓練		